

令和7年2月13日(木)に松本砂防事務所工事安全対策協議会は「令和6年度工事安全対策研究発表会」を長野県大町合同庁舎・大北建設会館で開催しました。

姫川流域の蒲原沢で平成8年12月6日に14名の尊い人命を失い、9名の負傷者を出した土石流災害が発生しました。松本砂防事務所工事安全対策研究発表会は、この災害を風化させることなく、砂防工事現場の安全対策に活かすことを目的に平成10年から実施しており、今年で27回目の開催となりました。

今年度は、砂防工事の安全対策に関する論文について24編の応募があり、その中から選定された5編について、会場で発表していただき、150名の皆様にご参加頂きました。(審査結果については下枠のとおりです)

また、特別講演を「現地KYの有効活用で労働災害防止」と題して長野県ゼロ災運動推進連絡会のコーディネーターをお招きしお話しいただきました。

各現場では様々な安全対策に関する取り組みがされており、事例を参考に砂防工事現場の安全対策のさらなる向上に繋がることを期待しています。

最優秀賞

「令和6年度北股砂防堰堤改築工事における安全対策について」
株式会社 相模組 監理技術者 荒井 良太

優秀賞

「釜ヶ淵砂防堰堤法面その2工事における安全対策について」
松本土建株式会社 監理技術者 輪湖 栄二

「令和6年度日向山第1号床固工工事における安全対策について」
株式会社 傳刀組 現場代理人 須沢 勝

入選

「黒豆沢緊急砂防工事における安全対策について」
白馬特定共同企業体 株式会社落田 現場代理人 勝野 幸男

「令和5年度田中川砂防堰堤工事における安全対策について」
株式会社 後藤組 現場代理人 富所 雄太



論文の発表状況



受賞者の栄誉をたたえました